

◎兄弟抄

「行解既に勤めぬれば三障四魔紛然として競い起る乃至随う可らず畏る可らず」

(御書 1087 ページ)

◎未来の翼

仏法の眼から見れば、困難があるということは、必ず勝利できるという瑞相(兆し)なのです。

だからこそ、大変であればあるほど、大きく変わるチャンスだと、力強く舞を舞うように喜び勇んで立ち向かっていく。これが、私たちの信心です。勇気ある信心が、最大のピンチを最大のチャンスに変えるのです。

(『未来の翼』 35 ページ)

◎大白蓮華 巻頭言「若き君よ！仏法を試みよ」

御書では随所に、苦難とは仏になるための試練であると示されている。ゆえに「まことの信心が今、試されているのだ」と立ち向かえば、断じて乗り越えられないわけがない。そして、その戦いによって、境涯を開き、仏の命をより強く光らせていけるのだ。

(『大白蓮華 2017 年 5 月号』 3 ページ)